

発刊の辞

一般社団法人 日本溶接協会
会長 栗飯原 周二

当協会は、会員の方々をはじめとする関係各位の絶大なるご支援により、2019年11月に創立70周年を迎えることができました。先ずもって心より感謝申し上げます。

このたび、創立70周年記念事業の一環として、最近10年間の活動を中心として記録としてとどめるため、関係資料の収集を行い、ここに「一般社団法人 日本溶接協会 70年史」を発刊するはこびとなりました。編集にご尽力された関係各位に、厚くお礼を申し上げます。

日本経済は、2008年のリーマン・ショックによる世界経済危機の後、この10年間で東日本大震災や金融緩和など大きな動きがありました。

溶接界を取り巻く環境も、社会的ニーズや価値観の多様化、資源やエネルギーミックスの多様化、製造業の国内回帰、都市再開発、人工知能の発達などの一方で、少子高齢化による労働力不足や技能・技術伝承の不安など変化が生じてきました。当協会では、こうした時代の潮流を的確に捉えながら、溶接界の持続的な成長と発展に向けて諸施策を展開してまいりました。2015年には、それらを活動指針と重点施策にまとめて「日本溶接協会のミッション」を制定し、これに従って溶接に関する調査・研究・標準化・教育・認証・認定に関する活動をしてまいりました。

また、公益法人制度改革に伴い、2013年に社団法人から一般社団法人へ移行しました。調査・研究、コンクール、国際協力事業を公益目的事業とし、不特定多数の方にとって利益の増進になるよう努めています。

70年史の発刊にあたりまして、このような活動をできるだけ分かりやすく、興味を持っていただけるように編集を心掛けました。また、これまでの活動を振り返ると同時に、将来に向けて溶接界の発展に貢献するというメッセージを随所に盛り込んでいます。本趣旨をご理解いただければ幸いです。

最後になりますが、皆様方の益々のご活躍とご発展を心から祈念するとともに、今後とも変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願いして、発刊の辞といたします。